

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 10 日作成)

|                              |  |  |
|------------------------------|--|--|
| 小委員会名                        | 安全計画小委員会   | 主 査 名：峯岸 良和<br>就任年月：2018 年 4 月   |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)  | 委員長名：広田 直行<br>主 査 名：山田 哲弥  |
| 設 置 期 間                      | 2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月  |  |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>設置目的：複雑化、高密度化、多様化、AI/IT 化する都市・建築・人間の安全に関する、新たな課題の整理と、その解決策を探る。</p> <p>活動計画：<br/>2018 年度：① 安全性の見える化手法としての建築安全設計のメニューのひな形の作成と、メニュー作成に向けた他分野の取り組み等の分析。<br/>2019 年度：② ①の継続＋建築主－設計者間の安全設計に関する「対話の誘導」・「水準の合意」を促すためのしかけづくりを議論<br/>③ 社会ニーズの変化・複雑な法改正・AI/IT 化の流れを踏まえ、2020 年以降における建築安全設計のあり方を議論<br/>④ ①～③をテーマとしたシンポジウムを開催。</p>  |  |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | <p>委員公募の有無：あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 峯岸良和 (竹中工務店)：主査</li> <li>・ 桑名秀明 (鹿島建設)：幹事</li> <li>・ 水落秀木 (清水建設)</li> <li>・ 北嶋秀明 (ETRA 環境技術研究所)</li> <li>・ 古瀬 敏 (静岡文化芸術大学名誉教授)</li> <li>・ 土屋伸一 (明野設備研究所)</li> <li>・ 林 広明 (大成建設)</li> <li>・ 村井裕樹 (日本福祉大学健康科学部)</li> <li>・ 古川容子 (日本建築センター評定部)</li> <li>・ 吉野攝津子 (大林組技術研究所)</li> <li>・ 宮崎 淳 (日本設計)</li> </ul> |  |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | なし   |  |
| 2017 年度予算                    | 135,000 円  | ホームページ公開の有無：あり<br>委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s6/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s6/</a> |

| 項 目                                       | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数                                    | 6 回 (年度内計画を含む)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                     | なし  |
| 講習会                                       | なし  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会承認企画 | なし  |
| 大会研究集会                                    | なし  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                        | なし  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)            | <p>1. 委員会の開催：年間 6 回 (目標 6 回)</p> <p>2. 議論を深めるにつれ、建築主－設計者の対話、水準合意や、変化する社会における安全性のあり方など、当初目標より上位概念のシンポジウム案ができてきたこと。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題                              | 1. メンバーの増員・多様化に向けて、公募を検討する  |